

資料 4




新たな全国版図柄入りナンバーの寄付金 使途

1. これまでの検討会における議論

これまでの検討会において、事務局から「新しい生活様式の実現」、「防災・減災」、「バリアフリーの推進」、「持続可能な社会の達成」、「オリパラレガシーの継承」といった取組のPRを念頭に、「テーマ」について議論頂いたところ、「寄付金の使途」について、委員から以下のご意見を頂いている。

- ・「テーマ」と「寄付金の使途」は、必ずしも1対1の関係性である必要は無いが、あまりにもかけ離れた使途は避けるべき。
- ・寄付金の使途は「テーマ」及び「デザイン」の内容を踏まえて検討すべき。
- ・「テーマ」に沿った幅広い取り組みに「寄付金」を活用していくことが望ましい。
- ・「レガシー引き継ぐ」、「コロナ乗り越える」については、寄付金の使途との関係で考えると限定的になるのでは。
- ・「安心して楽しいお出掛けを」のような、メッセージがあれば、その安心の中に「バリアフリーの推進」も使途に含められ、コロナを乗り越えた後の活動ということになると、楽しいお出掛けが実現できるのでは。

- 国土交通省においては、“走る広告塔”としてのナンバープレートの機能に着目し、図柄入りナンバープレートの導入を開始。
- まずは、ラグビーW杯、東京2020オリパラの特別仕様ナンバープレートにより、大会の開催機運を醸成。
- さらに、地域振興・観光振興に貢献すべく、平成30年10月1日より、地域の魅力ある風景や観光資源を図柄にした地方版プレートの交付を開始。

	交付地域の単位	図柄	交付時期	寄付金の使途
ラグビーワールドカップ 特別仕様	全国		平成29年 4月3日 ~ 令和2年 1月31日	<u>会場までの輸送力の 増強等</u> (<u>全国12カ所</u>)
東京2020オリンピック・パラ リンピック競技大会特別仕様	全国	 <small>オリンピックとパラリンピックのエン ブレムをセットで交付</small>	平成29年 10月10日 ~ 令和3年 11月30日	<u>開催地におけるリフト 付きバス、UDタク シーの整備等</u>
地方版	ナンバープレート の地域名表示単位	 <small>地域から提案があったデザイン</small>	【既存地域】 平成30年10月1日 ~ (41地域) 【新たな地域】 令和2年5月11日 ~ (17地域)	<u>当該地域における自 動車交通サービスの 改善、観光振興等</u>

ラグビーワールドカップ2019 開催会場一覧



出典：Wikipedia「ラグビーワールドカップ2019」より

【開催日程】

2019年（平成31年）9月20日（開幕戦・東京スタジアム）
 ～ 11月2日（決勝戦・横浜国際総合競技場）

競技場へのアクセス改善（釜石の例）



ユニバーサルデザインタクシーの導入

- ・身体障害者のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造となっているタクシー車両

乗車空間



〔標準的な車いすで乗車できるスペース〕

車いす乗降口



〔標準的な車いすで乗降可能な高さ〕

ノンステップバスの導入

- ・出入り口の床面の高さが350mm以下。
- ・乗り降りする部分(乗降口)の段差をなくしてある。

スロープで昇降



〔標準的な車いすで乗降可能な幅・十分な耐荷量〕

乗降口



〔安全に乗降するための手すり〕

車いす乗車用スロープ



〔標準的な車いすで乗降可能な幅・十分な耐荷量〕

バス出入口（低床）



〔標準的な車いすで乗降可能な高さ〕

熊本：高齢者安全運転支援（ペダル踏み間違い防止装置補助）

高齢者安全運転支援制度のご案内

ペダル踏み間違い防止装置の
購入・設置費用の一部
(最大3万円)を補助します

ご希望の方は協力店舗へ
ご相談ください

熊本県
交通安
全推進
連盟

1台につき
最大3万円
補助

協力
店舗

装置を販売・設置

最大3万円を差し
引いた額を支払

高齢
運転者

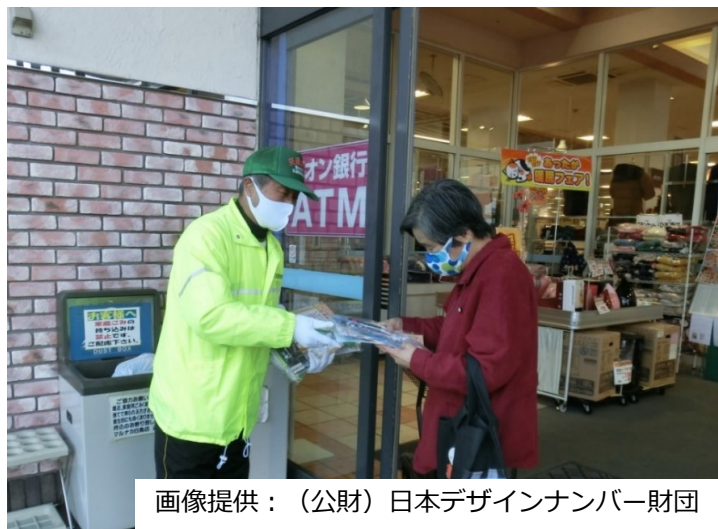
協力店舗の一覧は熊本県ホームページに掲載しています
<http://www.pref.kumamoto.jp/>

熊本県 検索

ホームページの多いバージョン: 助産業・補助金

本制度は、令和2年1月8日～2月末までに購入・設置が完了するものが対象となります。なお、予算の範囲内での補助となりますので、**予算期間中**であっても各協力店舗ごとに受付を終了することがあります。

香川：反射タスキ配布キャンペーン



徳島：「にし阿波」地域観光誘致ポスター



3. 寄付金使途の論点と考え方

- 全国版の図柄入りナンバーとして相応しい寄付金使途とは何か。
⇒ 寄付金の使途として、特定の地域のみが対象となるものは相応しくないため、寄付金の使途となる施策の範囲を全国としてよいか。
- オリパラナンバーのレガシーとして、その寄付金使途を継承すべきか。
⇒ オリパラナンバーでは、バス・タクシーのバリアフリーを推進してきたが、バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標（2025年度末）が定められ、バリアフリー化の目標値が引き上げられていることから、引き続きバリアフリーの推進を行ってはどうか。

(参考)

現行バリアフリー化率（2019年度末（速報値））

・乗合ノンステップバス	61%
・乗合リフト付きバス等	5%
・福祉（UD）タクシー車両	37,064台



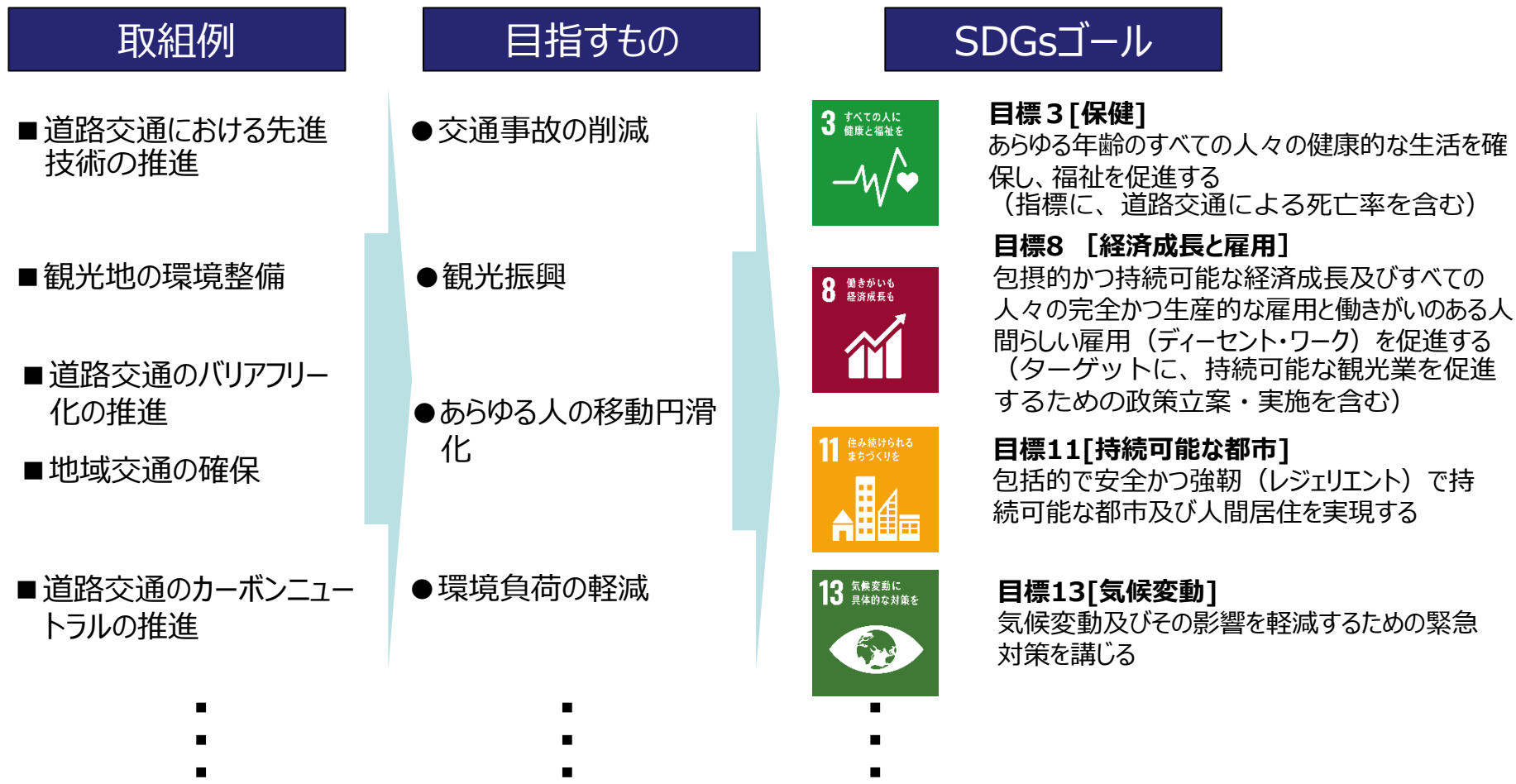
次期目標（2025年度末）

約80%
約25%
約90,000台
各都道府県の総車両数の約25%をUDタクシー

- 自動車ユーザーから任意の寄付金であること、「日本を元気に！」「立ち上がれ美しい日本！」をテーマとしていることを踏まえ、自動車ユーザーに対し、どのような取組を寄付金の使途として訴求していくのか。
⇒ 自動車ユーザーに関連する事業のうち、活力ある日本に繋がる未来志向の取組を中心に訴求してはどうか。

4.自動車ユーザーに対する寄付金使途の訴求

○ 活力ある日本に繋がる未来志向の取組を寄付金使途として自動車ユーザーへ訴求するため、例えば2016年から政府の中長期的な国家戦略として、その達成に取り組んでおり、国民の認知度も年々上昇しているSDGsに着目し「道路交通におけるSDGs」の達成を掲げてはどうか。



持続可能な開発目標 (SDGs)

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。**「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会**の実現のため、2030年を年限とする**17の国際目標**。(その下に、169のターゲット、232の指標が決められている。)



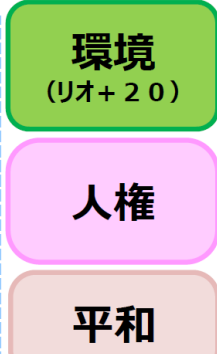
- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

前身：ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)


- 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。

- (①貧困・飢餓、②初等教育、③女性、④乳幼児、⑤妊産婦、⑥疾病、⑦環境、⑧連帯)

 - ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 - 極度の貧困半減 (目標①) やHIV・マラリア対策 (同⑥) 等を達成。
 - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減 (同④、⑤) は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。




1 貧困をなくそう




目標1 [貧困]
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる

2 飢餓をゼロに




目標2 [飢餓]
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

3 すべての人に健康と福祉を




目標3 [保健]
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する (指標に、道路交通による死亡率を含む)

4 質の高い教育をみんなに




目標4 [教育]
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を実現しよう




目標5 [ジェンダー]
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

6 安全な水とトイレを世界中に




目標6 [水・衛生]
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに




目標7 [エネルギー]
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8 働きがいも経済成長も




目標8 [経済成長と雇用]
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する (ターゲットに、持続可能な観光業を促進するための政策立案・実施を含む)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう




目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]
強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

10 人や国の不平等をなくそう




目標10 [不平等]
国内及び各国家間の不平等を是正する

11 住み続けられるまちづくりを




目標11 [持続可能な都市]
包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する

12 つくる責任 つかう責任




目標12 [持続可能な消費と生産]
持続可能な消費生産形態を確保する

13 気候変動に具体的な対策を




目標13 [気候変動]
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

14 海の豊かさを守ろう




目標14 [海洋資源]
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

15 陸の豊かさも守ろう




目標15 [陸上資源]
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

16 平和と公正をすべての人に



目標16 [平和]
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

17 パートナリシップで目標を達成しよう



目標17 [実施手段]
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する